

2021年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月15日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東  
 コード番号 3195 URL <https://www.genepa.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 洋明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 智也 (TEL) 03-5909-2937  
 定時株主総会開催予定日 2022年1月28日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2022年1月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期の連結業績 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	13,224	5.0	66	△72.7	143	△34.6	△90	—
2020年10月期	12,597	30.3	244	—	220	616.2	112	873.3

(注) 包括利益 2021年10月期 △63百万円 (—%) 2020年10月期 125百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	△11.09	—	△5.3	3.9	0.5
2020年10月期	13.84	13.83	6.8	6.4	1.9

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 ー百万円 2020年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	3,598	1,663	45.9	203.42
2020年10月期	3,707	1,726	46.3	211.61

(参考) 自己資本 2021年10月期 1,651百万円 2020年10月期 1,717百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	△432	△71	△23	790
2020年10月期	764	△111	56	1,269

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年10月期の連結業績予想 (2021年11月1日～2022年10月31日)

2022年10月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、非常に不透明かつ不確実なものであり現時点において合理的に算定することが困難であるため記載しておりません。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年10月期	8,277,240株	2020年10月期	8,277,240株
2021年10月期	159,789株	2020年10月期	159,789株
2021年10月期	8,117,451株	2020年10月期	8,106,042株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年10月期の個別業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	11,366	5.3	27	△83.5	89	△53.8	△295	—
2020年10月期	10,791	28.7	164	—	194	—	131	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年10月期	△36.39		—					
2020年10月期	16.25		16.23					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年10月期	2,982		1,396		46.8		172.03	
2020年10月期	3,300		1,691		51.3		208.42	

(参考) 自己資本 2021年10月期 1,396百万円 2020年10月期 1,691百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、主に商品企画関連事業における新型コロナウイルス感染症の拡大による工場の稼働制限等の影響を大きく受けたこと及び、当社子会社のGenepa Vietnam Co., Ltd.に関連する関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益においても前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結損益計算書関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、ワクチン接種の促進や景気対策等により、経済が持ち直し傾向となる動きはあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言等が断続的に発出され、内需を中心に経済回復の低調が継続化し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する小売業界全体では、インバウンド需要及び個人消費の大幅な減少傾向は依然として続いており、売上の急減による利益悪化が顕著となりました。一方、当社グループが属するEC市場におきましては、新しい生活様式の定着によって、コロナ禍における消費行動のオンライン化、在宅勤務の増加やリモートによるコミュニケーションツールの利用拡大等が浸透した影響で、引き続き市場が拡大傾向にあります。

このような状況の中、当社グループの主力事業であります「ECマーケティング事業」につきましては、家具・家電・生活雑貨等の売上が好調であったことから、連結グループの売上高は前年同期を上回る水準で推移いたしました。一方で、利益面では、昨年度はマスク等医療用消耗品の大型受注による利益の反動があったことに加え、「商品企画関連事業」において、当社子会社のGenepa Vietnam Co.,Ltd.（以下、「ジェネパベトナム社」といいます。）で、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、工場の稼働制限による生産の大幅な低下や協力工場の操業停止等により納品が行えず、前年同期を大きく下回る水準で推移しました。

また、営業外収益において、円安の進行から主にジェネパベトナム社に対する債権に係る為替差益57百万円が計上され、特別損失において、ジェネパベトナム社の工場の稼働制限等により臨時休業等による損失22百万円及び固定資産の減損損失144百万円が計上されることとなりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は13,224百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は66百万円（前年同期比72.7%減）、経常利益は143百万円（前年同期比34.6%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は90百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益112百万円）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

#### ① ECマーケティング事業

「ECマーケティング事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で喚起されたEC需要や在宅勤務・巣ごもり需要等、消費者ニーズと消費行動のオンライン化の変化を的確に捉えることにより、家具・家電・生活雑貨等の売上が好調であったこと及びカンナート社においてECサポート案件等の売上が大きく伸長したこと等により、売上高は前年同期比で9.7%増と増収となりました。一方、利益面におきましては、前連結会計年度において、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い、マスク等を中心とする医療用消耗品の大型受注による特需が発生したことで利益が大きく増加した影響から、前年同期比で減収となりました。

以上の結果、売上高は10,865百万円（前年同期比9.7%増）となり、セグメント利益は360百万円（同15.2%減）となりました。

#### ② 商品企画関連事業

「商品企画関連事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により工場の閉鎖や大幅な稼働制限などが続き、ジェネパベトナム社と協力工場に加えサプライヤーにおいて生産性が大幅低下したことから事業全体の売上高が大きく減収となりました。利益面につきましても、売上の大幅減少に加え、海外向け商談の中断、ウッドショックによる資材不足や資源価格全般の高騰等の影響により、前年を大きく下回る結果となりました。特に、工場立ち上げ期であるジェネパベトナム社に対しては、渡航制限もあり十分な支援やバックアップが出来なかったことも業績の低迷に繋がりました。また、翌期以降についても引き続き新型コロナウイルス感染症による影響等が不確実であることから、ジェネパベトナム社の固定資産について減損損失を計上しております。

以上の結果、売上高は2,265百万円（前年同期比13.1%減）となり、セグメント損失は32百万円（前年同期は84百万円の利益）となりました。

#### ③ その他

「その他」につきましては、非物販事業としておしゃれなインテリア・雑貨の紹介、それらの事例の紹介及び家に関するアイデアを紹介するWEBメディア「イエコレクション」（<https://iecolle.com>）に掲載する記事数やPV数の拡大に向けた人員増加等の先行投資を継続して実行してまいりました。当連結会計年度におきましては、売上高が好調に推移したことにより、売上面・利益面での寄与があり、翌期以降も引き続き売上面・利益面で寄与することが見込まれております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度に比べ108百万円減少し、3,598百万円となりました。

流動資産は3,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、金融機関からの長期融資の返済により現金及び預金が479百万円減少しましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う巣ごもり需要の影響による売上増加により受取手形及び売掛金が264百万円増加、新型コロナウイルス感染症に伴い、世界的に船便の数が減少したことで納期が翌期となった影響により原材料及び貯蔵品が126百万円増加、各モールにおける施策向けの在庫確保により商品及び製品が81百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は258百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、ジェネパベトナム社において減損損失を計上したこと等により、機械装置及び運搬具が104百万円減少、工具、器具及び備品が26百万円減少、建物及び構築物が19百万円減少し、有形固定資産が137百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、1,935百万円となりました。

流動負債は1,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が94百万円減少しましたが、各モールにおける施策向けの入荷により支払手形及び買掛金が141百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は190百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が90百万円減少したこと等によるものであります。

### (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、1,663百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が90百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ479百万円減少し、790百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は432百万円(前連結会計年度は764百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失23百万円、たな卸資産の増加額198百万円、売上債権の増加額258百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は71百万円(前連結会計年度は111百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出56百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は23百万円(前連結会計年度は56百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の増加額70百万円の資金の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出90百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期
自己資本比率 (%)	58.3	48.4	50.6	46.3	45.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	189.5	200.6	144.3	171.9	89.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.1	—	—	0.71	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	356.8	—	—	237.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュフロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2018年10月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

(注6) 2019年10月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

(注7) 2021年10月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

#### (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は、EC市場の継続的な拡大やインターネットを活用した新しい決済手段が普及する等、激しい環境状況下ですが、「世代を超えた人と人との架け橋」の経営理念の下、消費者の多様化するニーズに最大限対応するとともに、変化に耐えうる組織作りを推し進め、企業価値を高めてまいります。

ECマーケティング事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが非常に不透明かつ不確実な状況であります。売上高と利益のバランスを取った上で新しい生活様式に対応させながら事業を拡大させるとともに、ECサポート事業及びメディア事業などにも注力していく方針であります。

商品企画関連事業におきましては、ECマーケティング事業で蓄積されたビッグデータを活用し、商品提案及び新規顧客開拓を加速させつつ、同時に商品の質を向上させるとともに、新綻紡社及びジェネパベトナム社の稼働率を向上させ売上高及び利益の拡大に努めてまいります。

今後の見通しといたしまして、新型コロナウイルス感染症による影響は、非常に不透明かつ不確実なものであり、EC需要・巣ごもり需要の高まりはさらに見込まれる一方で、新型コロナウイルス感染症の動向次第ではEC需要・巣ごもり需要の反動も想定され、また商品企画関連事業における工場の通常操業の制限等が起りえることから、現時点において合理的に算定することが困難であります。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（IFRS）の適用を検討する方針であります。

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（IFRS）の適用を検討する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,271,295	792,179
受取手形及び売掛金	803,072	1,067,429
商品及び製品	969,046	1,050,668
仕掛品	32,310	31,304
原材料及び貯蔵品	41,003	167,228
その他	178,083	235,317
貸倒引当金	△558	△3,363
流動資産合計	3,294,253	3,340,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,358	17,035
機械装置及び運搬具	140,314	36,115
工具、器具及び備品	52,193	25,720
リース資産	14,460	14,460
減価償却累計額	△65,183	△52,646
有形固定資産合計	178,142	40,685
無形固定資産		
のれん	159,780	137,351
ソフトウェア	21,420	24,328
その他	23	23
無形固定資産合計	181,224	161,703
投資その他の資産		
繰延税金資産	22,939	20,635
その他	31,216	45,968
貸倒引当金	—	△10,947
投資その他の資産合計	54,155	55,657
固定資産合計	413,522	258,045
資産合計	3,707,775	3,598,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	717,133	858,925
短期借入金	260,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	90,204	90,204
リース債務	3,549	6,447
賞与引当金	14,918	65,899
未払金	315,423	300,401
未払法人税等	117,777	22,786
その他	175,248	70,389
流動負債合計	1,694,255	1,745,054
固定負債		
長期借入金	273,028	182,824
リース債務	6,447	—
資産除去債務	7,331	7,355
固定負債合計	286,806	190,179
負債合計	1,981,061	1,935,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,117	627,117
資本剰余金	620,267	620,267
利益剰余金	566,204	476,168
自己株式	△90,620	△90,620
株主資本合計	1,722,968	1,632,932
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,194	18,313
その他の包括利益累計額合計	△5,194	18,313
新株予約権	137	—
非支配株主持分	8,803	12,330
純資産合計	1,726,714	1,663,576
負債純資産合計	3,707,775	3,598,810

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	12,597,785	13,224,120
売上原価	9,174,402	9,555,647
売上総利益	3,423,383	3,668,473
販売費及び一般管理費	3,178,951	3,601,663
営業利益	244,431	66,810
営業外収益		
受取利息	3,267	3,899
為替差益	—	57,219
受取保険金	5,573	1,697
助成金収入	10,246	9,414
その他	3,417	6,648
営業外収益合計	22,506	78,880
営業外費用		
支払利息	3,171	1,406
為替差損	42,174	—
その他	1,376	354
営業外費用合計	46,722	1,761
経常利益	220,214	143,929
特別利益		
新株予約権戻入益	—	137
特別利益合計	—	137
特別損失		
臨時休業等による損失	—	22,869
減損損失	—	144,571
固定資産除売却損	1,006	—
特別損失合計	1,006	167,441
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	219,208	△23,375
法人税、住民税及び事業税	120,723	61,995
法人税等調整額	△18,539	2,303
法人税等合計	102,183	64,298
当期純利益又は当期純損失(△)	117,025	△87,674
非支配株主に帰属する当期純利益	4,803	2,361
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	112,221	△90,036

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	117,025	△87,674
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,493	24,641
その他の包括利益合計	8,493	24,641
包括利益	125,518	△63,032
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	120,430	△66,528
非支配株主に係る包括利益	5,088	3,495

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	625,997	615,059	453,982	△90,588	1,604,450
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,120	1,120			2,240
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			112,221		112,221
自己株式の取得				△31	△31
支配継続子会社に対する持分変動		4,088			4,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,120	5,208	112,221	△31	118,518
当期末残高	627,117	620,267	566,204	△90,620	1,722,968

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△13,403	△13,403	137	32,838	1,624,022
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					2,240
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					112,221
自己株式の取得					△31
支配継続子会社に対する持分変動					4,088
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,208	8,208	—	△24,034	△15,826
当期変動額合計	8,208	8,208	—	△24,034	102,691
当期末残高	△5,194	△5,194	137	8,803	1,726,714

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	627,117	620,267	566,204	△90,620	1,722,968
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△90,036		△90,036
自己株式の取得					—
支配継続子会社に対する持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△90,036	—	△90,036
当期末残高	627,117	620,267	476,168	△90,620	1,632,932

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△5,194	△5,194	137	8,803	1,726,714
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△90,036
自己株式の取得					—
支配継続子会社に対する持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23,507	23,507	△137	3,527	26,897
当期変動額合計	23,507	23,507	△137	3,527	△63,138
当期末残高	18,313	18,313	—	12,330	1,663,576

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	219,208	△23,375
減価償却費	49,509	70,978
減損損失	—	144,571
のれん償却額	23,035	23,440
貸倒引当金の増減額(△は減少)	39	13,752
受取利息及び受取配当金	△3,269	△3,900
支払利息	3,171	1,406
為替差損益(△は益)	12,515	△8,086
売上債権の増減額(△は増加)	△3,262	△258,482
たな卸資産の増減額(△は増加)	114,931	△198,963
仕入債務の増減額(△は減少)	99,573	125,702
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	65,899
固定資産除売却損益(△は益)	1,006	—
未払金の増減額(△は減少)	63,625	△16,275
その他	185,561	△200,887
小計	765,645	△264,220
利息及び配当金の受取額	3,269	3,900
利息の支払額	△3,171	△1,406
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△852	△170,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	764,891	△432,319
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△124,832	△56,882
有形固定資産の売却による収入	31	—
無形固定資産の取得による支出	△2,367	△12,073
その他	15,257	△2,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,910	△71,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△280,000	70,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,768	△90,204
ストックオプションの行使による収入	2,240	—
自己株式の取得による支出	△31	—
リース債務の返済による支出	△3,549	△3,549
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△25,035	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	56,855	△23,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,034	47,829
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	698,801	△479,336
現金及び現金同等物の期首残高	570,889	1,269,690
現金及び現金同等物の期末残高	1,269,690	790,354

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

減損損失

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
ベトナム社会主義共和国 ビンズン省	事業用資産	建物及び構築物 機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品 建設仮勘定

当社グループは、主として管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位でグルーピングを行っております。

ジェネパベトナム社につきましては、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当期減少額を減損損失として144,571千円を特別損失に計上いたしました。

なお、当資産グループの回収可能価額は、使用価値によって測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスのため、回収可能価額をゼロとして評価しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ECマーケティング事業」、「商品企画関連事業」を報告セグメントとしております。

「ECマーケティング事業」は、マーケティングの基礎となるビッグデータを、当社グループの運営するECサイトや、楽天市場、Yahoo!ショッピング、Amazon等のECモール及びインターネット全体から収集・分析し、当社グループと取引のあるメーカー及び卸売事業者から提案された商品について、消費者の購買につながる可能性の高いキーワード、商品画像、価格等を設定し、当社グループECサイトで販売を行う事業となります。

「商品企画関連事業」は、取引先のサポートを行うために当該ビッグデータを活用した取引先商品の企画を中心に行う事業となります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,901,216	2,594,467	12,495,683	102,101	12,597,785	—	12,597,785
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	437	12,754	13,191	—	13,191	△13,191	—
計	9,901,653	2,607,222	12,508,875	102,101	12,610,977	△13,191	12,597,785
セグメント利益	424,863	84,297	509,161	26,868	536,029	△291,598	244,431
その他の項目 のれんの償却額	19,464	3,570	23,035	—	23,035	—	23,035

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△291,598千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,598千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社グループは、事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング事業	商品企画 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,864,934	2,253,097	13,118,032	106,088	13,224,120	—	13,224,120
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	573	12,372	12,946	7,036	19,982	△19,982	—
計	10,865,508	2,265,470	13,130,978	113,124	13,244,103	△19,982	13,224,120
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	360,101	△32,103	327,998	22,804	350,802	△283,992	66,810
その他の項目 のれんの償却額	19,464	3,975	23,440	—	23,440	—	23,440

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△283,992千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,992千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社グループは、事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	ベトナム	合計
24,019	12,408	141,714	178,142

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	ベトナム	合計
19,307	21,377	—	40,685

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
減損損失	—	144,571	144,571	—	—	144,571

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			報告セグメント計	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
当期償却額	19,464	3,570	23,035	23,035	—	23,035
当期末残高	150,853	8,927	159,780	159,780	—	159,780

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			報告セグメント計	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
当期償却額	19,464	3,975	23,440	23,440	—	23,440
当期末残高	131,388	5,962	137,351	137,351	—	137,351

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり純資産額	211円61銭	203円42銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	13円84銭	△11円09銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	13円83銭	－銭

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	112,221	△90,036
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	112,221	△90,036
普通株式の期中平均株式数(株)	8,106,042	8,117,451
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数(株)	9,421	－
(うち新株予約権(株))	9,421	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。